

## ■市民ホール基本計画の内容について

## 1. 基本計画の位置づけ

## (1) 基本計画策定の目的

No.	意見
1	基本計画(案)に沿ってやってください。
2	これから、少子高齢化や人口減少社会に進んでいく時代背景を常に忘れず、前向きな市民が知恵を出し合ってホール整備を進めることを希望する。
3	観る、聞く側・主催する側・演ずる側・管理する側、各々の立場に配慮した設備をもつ事で、利用価値の高い施設にし、市民が自慢して話せるような市民ホールにしてほしい。
4	目立つことや過剰なことは不要です。 基本的な、使いやすいホールであってこそ、利用され、人が訪れ、ひいては小田原の文化・芸術の要となる場所になれるものと思います。
5	この市民ホールが、この町に希望を与えてくれる存在になることを期待しています。
6	1. 基本計画の位置づけ 総合計画では、ビジョンは市民文化活動の強化を謳っています(先述のように市民の芸術文化活動と市民文化活動の違いがよくわかりません)。これは文化(定義は別として)の関わる事象すべてを対象とすると理解します。いっぽう、ホール計画では、これを芸術文化創造拠点としています。ここでいう芸術文化とは何をさすかといえば、記述にもとづけば舞台に関わる芸術を意味しその拠点を整備すると理解され、かならずしも文化全体を指すものではなく(広義の)美術系(あるいは展示系)は、付随的なもの解釈されます。したがって、ここでいう芸術文化以外の分野の芸術活動は、ビジョンにもとづく更なる施策を持って、ホールと同等の拠点整備が行われるものとしてよろしいでしょうか。どうも、「そう」ではないような気がします。
7	この計画に沿って実行される事を期待します。

## (2) 上位計画

No.	意見
8	新しいホールが建設されると聞いて楽しみにしていたのですが、最近では市長選にからみ、市民ホールを防災の拠点にする話もでて、これでは増々建設が遠のき、ホールなんて、との意見がでてきてしまう懸念が予想されます。せつかくの小田原市の総合計画「おだわらTRYプラン」・文化振興ビジョン、ひいては小田原の活性化が先送りされてしまいます。
9	●小田原にホールが必要である理由 ~南足柄や二宮のホールを使えばよいという意見に対して 1. 南足柄や二宮のホールを小田原市民の文化芸術活動の拠点にはなりえない。 2. 場所が遠いので、小田原のホールのほうが多数の観客を呼び込める。小田原にホールがあるほうが、市民の芸術文化に触れる機会が増え、発表会も賑わう。
10	文化振興ビジョンがあつてのホール建設に期待しています。
11	小田原市は海・山・食に恵まれた良い自然環境・観光等々ありますが何か足りないものが有ると思っていました。それは文化施設だと思えます。
12	文化活動や観光の拠点を設置することには反対ではないが、市の文化・観光・経済・防災対策・財政等を再度総合的に見据えた将来ビジョンを市民に提示し、その中での建設計画を策定すべきだと思います。

## 2. 市民ホール整備の目的

## (1) 基本構想

No.	意見
13	基本理念、理想は多方面に沿って要素を挙げているが、現実に実行するにあたり、実現可能な形が実際に見えてこない。
14	基本計画案の理念、理想を求めるとはいいが、全体の予算も抑えないで計画倒れになり、市民の税金や利用料などへの負担ばかりが増大してしまう可能性が大いにある。
15	かつての「仏作って魂入れず。」の施設などにならないように、市民参加のしやすい芸術・文化創造施設として、継続して機能する運営の方策を今後の大きな課題とし、検討、計画をお願いします。
16	理想理念では、ホールは出来ない！！

(2) 施設の目指す方向性(芸術文化活動の拠点、センター)

No.	意見
17	文化遺産の多い町にありながら、文化的なレベルの低さを感じていたので、是非市民ホールは小田原の文化レベルの高さを示せるものにしてほしい。
18	現在の小田原市民会館は、貸し館で、ホール発で企画イベント等は行っていません。小田原市民会館＝文化創造センターではないのです。
19	20万都市小田原のみならず、県西の文化芸術受発信基地として、そして心豊かな市民生活の基盤として小田原市民会館に代わる新ホールは必要である。
20	これは単なる「ハコモノ」計画ではない事を認識し、基本計画に沿い、建設を進めてほしい。
21	「芸術文化創造センター」と位置づけると市民から見れば、一部の人が主に利用する施設とみなしてしまいかねません。市民にとっての複合文化施設として、「市民の館」としての位置付けで考えることが必要です。
22	今回の方向性で良いのではないのでしょうか。
23	単に箱モノではなく創造する拠点と言う考え方は良いと思います。市民が率先して創造し企画したくなる、使いたくなるホールでなくては意味がありません。
24	ホール建設に興味のない普通の皆さんが普通に来たり受け入れてくれるために、名前は市民ホールで充分です。
25	幅広い分野・利用者に気軽に使える施設にしてほしい。
26	「芸術文化創造センター」ということで、新たな価値が記されておりますが、現在の市民会館からの建て替えということでも、必要なことと考えます。基本計画からは、老朽化した現在の施設の維持管理にどれだけのコストがかかるのか、詳細は分かりませんが、現在の施設を維持管理していくだけでも、多くの費用がかかると思われます。そこに新たな価値を見出していくのであれば、市のランドマークとしても必要なのかもしれません。
27	2. 整備の目的 この項には、(1)基本構想において「…創造することを目的に…基本構想を示した」とありますが、「市民ホールは…を目的とする」という文言がありません。ちょっと目的が分り難くなっています。方向性に示された「芸術文化創造センター」としての機能は賛意を表しますが、センターとして機能を集約するあまり、地域における活動拠点整備や文化芸術活動への関心が行政(事業や予算措置)においても文化団体においても市民意識においても薄れてしまうことが懸念されます。
28	いっそのこと「舞台芸術系文化の振興の拠点を整備するものである」と明言してしまえばよかったですのではないかと思います。ただ、その場合には、舞台芸術の振興が小田原の文化にとって最優先の課題である理由を提示しなければなりません。
29	芸術文化創造センターなんて名前にしていいと誰が言ったんですか！？ 市民ホールでいいではないですか！！ またいつもの小田原のバカな所出して来て！！ くらー！！(怒)
30	ホールを作ることは“未来への投資”と考えます。60歳代、70歳代は市民会館で育てられたし、市民会館で育てた、次の世代へ投資する番である。

(3) 文化関連施設の役割分担

No.	意見
31	施設計画が舞台系に特化していることを考えると、舞台系に文化施策が偏ってしまうことになりませんか。計画では機能分担を図っていますが、どのような機能分担が考えられますか。

3. 事業方針

(1) 基本的な考え方

No.	意見
32	新しいホールは、基本構想は七つのテーマがあります。「そだてる、たのしむ、つくる、つたえる、出会う、にぎわう、ひろげる」これこそが、新しいホールを待ち望む市民の声なのです。お洒落をして、開演まではシャレたカフェでお茶をする。そんな素敵なホールができる事に期待します。
33	市民近隣の地域住民の文化意識を昂揚させる催しができるホール。
34	私達が欲しいのは良い文化(芝居や音楽の)が単純にたくさん見れる「場所」なんです。それだけでも文化は充分育まれます。いろいろ付けすぎないで！！
35	3. 事業方針 「…文化振興ビジョンにおける施策の方針(4項目)を踏まえ」とありますが、ここで示している7項目の事業方針は基本構想で既に提起されているものであり、後から策定されたビジョンの内容を時間的に関係付けるのはできないと思います。内容的には読み流せますが、時間的(論理的)にどうつながるのでしょうか。
36	展示系がほとんど無視されていることかなりの違和感もっております。

37	ホールでの公演といったハイクルチャーな芸術の提供も大事ですが、文化をより身近にたのしむ、ひろげるためにも、市民団体や街のギャラリーとの連携を推し進める姿勢であるならば多いに賛成です。まちづくりの点においても大きなポイントになります。そうするのであれば、なるべく早めに連携の話を進めておく必要があると思います。そのためにも、計画を限られた時間の中でより具体的にしていかなければなりません(ビジョン・ミッション、事業内容－それぞれのターゲット形成など)。あれもこれもやりたい！結局何をやっているんだ？とならないようにアイデアを吟味してまとめておくことも重要であると思います。
----	---

(2) 事業内容(そだてる、たのしむ、つくる、つたえる、出会う、にぎわう、広げる)

No.	意見
38	未来の子供たちへの投資として新しいホールは必要です。「今あるホールを使えばよい」という意見もあるようですが、市民会館で発表を行っている方の意見なのか？
39	これだけの大きな投資をするならば、建物を造っただけにとどまらず、これから何十年にもわたって発表の場、創造の場、教育の場、文化発信の場、等など何十倍もの価値を生み出す拠点としていくべく、運営ソフト面での工夫も続けていって欲しいと思います。
40	きちんとしたホールが市にあることで、市民の文化的な教育に幅が出来ると思います。市民ホールの建設を応援いたします。
41	大変良く出来ています。ロビーコンサート等による、一般に開放したものが充実出来たら良いですね。
42	これからは、この案の中にある、方針や構想を実際に実現するためには、具体的にどのような企画、イベントを催していくべきなのか、実際に具体案を検討するなど、より現実的な計画が必要になると思います。
43	経済的な問題とも向き合わなければ、長く維持することができなくなる。
44	ホールでどのような活動をしたいか。「郷土にゆかりの作家の展覧会の開催」
45	事業内容では、事業例は、事業レベルで網羅的に示されまっていますが、具体的な文言となると、実演家、舞台芸術、演劇、公演、演目、音楽、練習場、稽古場、リハーサル会場、観客動員などが頻出し、その他の分野の記述がまったくなく、舞台に関わる芸術文化を偏重している(しか考えていない)という感じが否めません。また、ここに掲げた事業(ここでは例とされていないので約束ごととなります)がすべて実行に移されればよいのですが、舞台系に特化した計画ではおそらく実現が不可能でしょう。前項の機能分担とともに施策や施設ごとに整理して実現の可能性を示していただけたらと思います。

(3) 拠点施設としての連携のあり方

No.	意見
46	町(街)起こしにつながるという点はかなり大きな展開が必要なので、他の領域(行政の)とのすり合わせも必要となるだろう。

(4) 中長期的な事業展開の考え方

No.	意見
47	県立音楽堂のように、きちんと使いたいと思うホール！！ 伊藤さんのお言葉は本当に胸に響きます。ちゃんと使う市民もだけど、小田原市も作りっ放しにしないで欲しい。

4. 施設計画

(1) 基本的な考え方

No.	意見
48	《P13》「施設計画、基本的な考え方」について 上記項目に、次の一文加えていただきたい。【城址公園との連携】城址公園の正面に位置するという立地に考慮し、各種イベントが行われる城址公園と連携し、各種イベントがより効果的に実施できるよう配慮します。
49	4. 施設計画 施設整備の基本的な考え方は、施設整備を考えると当然に出てくる機能ですから、あまり意見をさしはさむ余地はありません。ただ、具体的な文言で、ホール、公演、舞台まわり、楽屋、ピアノ、出演者などが限られた分野の例が挙げられています。すなわち方針とおなじく限られた分野に重点が置かれていることが如実に出ています。

① 芸術文化創造の拠点

No.	意見
50	基本的な考え方の①に、芸術文化の創造の拠点とあるが、平面的な芸術ではどうしても対策が必要で見栄えもする。

51	我が市は、人口二十万、横浜市は百万「神奈川芸術劇場レベル」の施設は不要。仮に作っても経費膨大で維持不能の危惧あり、「身の丈に合った施設」とすべき。
52	市民ホールの計画や活用とそれ以前に考えるべき文化振興にICTとのかかわりが見られないがそれでいいのでしょうか。

②機能的で使いやすい施設

No.	意見
53	音楽に関わる催し物には、楽器の搬入、搬出が必要です。天候に関わらず、安心してスムーズに楽器移動が行えるスペースの確保をお願いします。(駐車場から雨にぬれずに搬入搬出ができるように)
54	細かいことですが、台車も貸し出しできると便利です。また、それらでの移動がしやすいフロアであってほしいと思います。

③人にやさしい施設

No.	意見
55	(トイレ)障がい(児)者のオムツ交換台、子どものベビーチェア、オストメイト(人口膀胱の人の為)を付けて欲しい。
56	エレベーター(25人乗り及びストレッチャーが乗れるもの)を設置して欲しい。
57	人工呼吸器をつけている人も特別の部屋ではなく、一般の人たちと一緒にの部屋で過ごさせて欲しい(差別なくやって欲しい)
58	聴覚障がい者の為に、TV画面等で文字を付けて欲しい。又、手話通訳を(窓口で頼み)テレビ画面を通してできる等の配慮をして欲しい。
59	障がい児(者)、高齢者、妊産婦、一般のお客様において、具合の悪い人は誰でも休めるベッドのある休める場所を設置して欲しい。
60	舞台の上り、下りをしやすいようにスロープを設置する。
61	施設に車椅子、障害のある方、弱者のある方のために全館のバリアフリー化が本当に言葉ばかりが先行して実現身を感じさせない。
62	車椅子の席は、最前列と中間通路を広く取り、車椅子の席とする。
63	車椅子が増えた場合は座席を取り外せるようにして、席を作る。
64	車椅子が災害時等、外に出られるように、出入口の近くに設ける。
65	車椅子が災害時等、一般の人と共に出ると混乱をおおるので、別出入口から出られるような工夫をする。
66	エレベーターのドアはガラスの入ったもの！ 聴覚障害は、音声によるコミュニケーションができません。万が一地震などでエレベーターに閉じ込められてしまった時、外との会話のためにガラスの窓のあるエレベーターの設置を希望します。
67	階段の踊り場の壁に鏡を設置してほしい！ 私達聴覚障害者は足音が聞こえません。階段での衝突を避けるため、階段の踊り場の壁に鏡の設置を希望します。
68	電光掲示板の設置をお願いしたい！ 災害の火災発生時、目で見てわかる方法で緊急を知らせてください。すぐに気付ける赤のパイライトをつけて下さい。(赤と緑と黄でも可)
69	公衆FAXを設置してください。(携帯電話を使えない聴覚障害者もいます。)
70	ともしびショップのイベントなどを持てる様に作業所の方の意見を拾って下さい。養護学校、普通学校等の。
71	バリアフリーについて 特に障害者、高齢者への配慮を欠くことは出来ません。バリアフリーといえども、どこがバリアフリーだと疑うような公共施設もあります。たとえば、スロープの傾斜には十分な配慮が必要です。初めは勢いがあるので、急でもかまいませんが、徐々に推力がなくなると坂の最後を乗り越えるのが大変、高速道路のランプウェイのごとく、加速減速によるアールの工夫を考えていただきたい。
72	車いすの利用者について 車いすで来場の方の配慮として、客席に車いすコーナーを設けていますが、ナンセンスです。車いすの方でも、自分のなじみのポジションがあるはずで、舞台を見る角度、ほどよい音響で聞こえるスポットなど、その方なりのこだわりや好みを実現するためには、車いすから客席へ自由に移譲出来る配慮も必要です。客席は可変式の肘掛けにする等の工夫が必要です。

④にぎわいの創出

No.	意見
73	④にぎわいの創出では小田原市民だけでなく、周辺の市町村の参加も重要である。西相美術協会はきわめてオープンに出品者を募集し、周辺市町村の参加者が多い。
74	(1)施設整備の基本的な考え方の④にぎわいの創出の部分について、「十分な広場を設け」という部分以外、概念的な表現となっており、施設計画のイメージがしづらいつと思う。「レストランカフェ」や「情報センター」が計画されており、これらにもぎわいの創出に貢献するものだと思うので、ここで触れられてはいいかがか。
75	今回の施設は、市民が気楽に利用することが出来て、「にぎわえる場所」であり、いつも開放されて人々の出入りが自由に出来る所であるのが、第一義的な目的を持ったものであると考えます。

76	行政施設として、文化施設、特に芸術・文化機能に特化していると思われますので、付帯設備として、城址公園や街中への観光客を回遊させる、観光交流拠点としての機能をもたせるようにしていただきたい。
77	《P14》「にぎわいの創出」について お堀端通り沿いに設ける広場は、「芸術文化活動や関連ワークショップなどを行い、にぎわいを創出する」とのことですが、文化活動に限らず幅広い分野の利用に対応できるように計画していただきたい。また、給排水設備や屋外ステージの常設なども考慮していただきたい。
78	一部では、ホールの建設地を駅前にするべきだという意見があると聞きました。私はこの意見には反対です。ホールの建設は、文化の向上だけでなく、町全体の活性化のためでもあります。コンサートにいらしていただくお客様方に、少しでも町を歩いていただき、町の雰囲気、古い都の趣、昔ながらの商店街などを見て、小田原を知っていただく。このようなことから、人々の交流が生まれ、循環が生まれ、活性化へとつながっていくのではと思います。

#### ⑤景観への配慮

No.	意見
79	配置に関しては、馬出し門から見える建物としては、最大31mの高さの大ホール(大分奥に下がるとは言え)、背の低い建物を持って来て、景観に配慮して頂けたらと思います。
80	施設構成イメージに関して図はあくまでイメージではあるが、おおくの市民から指摘された「城下町ホール」は、「馬出し門」の正面にガラスの壁の如くに建つホールに、多くの市民が違和感を覚え、結果今日に至る。然るに「馬出し門」正面には必然的に高い構造となる「大ホール」は避け、「小ホール」と位置を入れ替えるイメージとするを提案する。
81	三の丸に建てる以上、お城との景観にマッチしたものにならないといけないと思います。想定される30mより、何とか努力して2mでも3mでも低くすることは出来ないのでしょうか。専門家の方々が様々なアイデアを出して下されば、可能だと思います。
82	景観についてはいろいろ理想的なことが述べてありますが、今の市民会館が1号線からのお城への見通しをまさに妨げているような状態(市民会館が1号線かどちらが先に出来たかは知りませんが)になってはならないと思います。

#### ⑥環境との調和

No.	意見
83	環境との共生、環境へ負荷の少ない、等の言葉が使われ、評価できる部分もありますが、また環境への踏み込みが足りないと思います。「環境配慮建築」との言葉より、環境調和型建築」として、いっそう踏み込んだ建築計画をお願いします。
84	「敷地内に植栽を施し、土や芝生に覆われた路面を増やし、都市の温暖化を抑制するとともに、緑あふれる都市環境を創出することで」との記述ですが、芝生や造園的な植栽はまだ環境への対応としてはレベルの低いものです。生物多様性の理念に基づき、土壌形成や様々な生き物と共生できる空間づくりを目指してもらいたいと思います。また建築自体も、自然素材の有効利用やデザインなどを通じて、周辺の環境や景観と調和する計画をお願いします。
85	16ページ ⑥ について、最終3行を次のようにして頂けるように提案いたします。 計画の初期の段階から庭園計画などを盛り込み、周辺の自然景観や生物環境と調和し、一体となる建築を工夫し、豊かな自然環境と親しみながら活発な文化創造の場をつくり、うるおいのある環境の中で暮らせるまちづくりに貢献します。

#### ⑦防災対策

No.	意見
86	災害時においては、一般の方も、障がい(児)者も関係なく、利用者全員の避難場所とし、その後、すみやかな誘導を行い、利用者の安全をはかる。
87	避難難民が出た場合、市民ホールを避難場所として提供する。
88	芸術、文化の拠点としての会館は大変結構と思いますが、それ以外に災害時の一台拠点としての機能を本計画以上に充実させた方が良いのではないのでしょうか。
89	雨水は災害時の飲料水やトイレに使用できるようにする。
90	トイレは災害時にいつも問題になります事から、近隣の被災者が自由に使用できる規模の施設を備えておく事も必要と思います。
91	防災対策(特に、津波の一時避難としての機能を持たせる)
92	「災害に強い市民ホール」を創るべきである。小田原市は伊豆箱根方面への観光の要衝であり、大災害の発生時、観光客の大半は交通のアクセスの良い小田原市に集中することになる。そして、大多数の観光客は帰宅困難者となり、当市に滞留することとなる。これらの人の一時避難施設の設置は観光都市を高らかに謳う小田原市の当然の責務である。
93	耐震、対津波の構造建築を図るべきである。
94	停電時のガス・重油での自家発電装置を備えるべきである。
95	情報受発信システムの設置を行うべきである。
96	飲料、毛布など資機材の保管をすべきである。
97	芸術文化の創造を思考することはもちろん大切である。しかし、同時に、現在最優先すべきことは災害対策であり、全ての知識と知恵を集中するときである。
98	日本に冠たる「災害に強い市民ホール」を創って欲しいものである。

99	「災害に強い市民ホール」については、当然費用はかかるが、他を削っても実施するという強い気持ちが必要である。
100	防災の拠点等は考え直すべきと考えます。ホールは基本的に頭上や各所に大変危険な設備が多くあります。防災備品を備蓄し二次避難施設としては考える余地はありますが一時避難場所としては不適格と考えます。
101	P16 防災対策 東日本大震災以降、防災対策の意識が強くなりました。特に大型公共施設は、地震で崩れないだけでなく、災害時に一時的に避難出来るよう、電源を確保できるようにすることや備蓄倉庫の配置の必要性も確実に高まってきていると思います。
102	限られた予算の中で、全て満たすものを整備することは難しいのですが、市民ホールが、末永く市民の良きパートナーとなるよう、芸術文化に優れたホールにするだけでなく、防災対策も十分強化し、安心感も強くアピールできる施設になるよう計画の推進をしていただきたいと思います。
103	防災への配慮について 基本的には「建築基準遵守」で良いが、ホール天井は3/11で落下した川崎市ホールの事例を参考に…天井安全対策は重要。「防災倉庫など災害対策機能の確保」…基本計画(案)P 16敷地・施設内に余裕があればよいと思うが、「災害時」及び「地震警戒宣言発令」の時、「帰宅困難者の一時避難施設(被害なく使用可の時)」として、必要備品常備・施設活用に目的を限定すべきで、地域まで考慮した「防災倉庫…」等発想の拡大は別途防災計画で検討すべき内容と考える。
104	津波への防災対策として充分耐えられる建物構造とするとある(p16)が具体的な記述は無く、今後従来計画より基礎はより深く、本数や間隔の増加等の計画変更が必要と思われる。その場合遺跡調査まで行った貴重な大手門周辺の遺跡は市により基大な破壊がなされると思われる。
105	県西地区の防災センターの建設は別途検討すべきで、ホールに併設する必要はないと思います。

### ⑧コストへの配慮

No.	意見
106	会館で使う電力はすべて自前でまかない、余剰電力は販売するくらいの設備を揃える。
107	⑧コストへの配慮、多目的使用によりコストもおさえられる。
108	イニシャルコスト・ランニングコスト・ライフサイクルコストに共通の基本は唯一、全てに「シンプル化と合理化に徹する」ことにあると考える。特に配線・配管は集約ダクト方式を検討頂きたい。床暖房に温水配管(旧城下町ホール案)?…これこそ「神奈川芸術劇場の冷暖房システム」を取り入れるべきと考える。
109	自然エネルギー(太陽光・雨水)活用・エコ対策は、将来施設として考慮すべき事であるが、その実現には更なる費用が必要となる。よって将来追加改善可能の設計として、一次・二次計画方式の検討を提案したい。但し「雨水活用」に地下タンク式採用(災害時トイレ用)の場合は、当初より配慮すべきと考える。
110	17p コストへの配慮…イニシャルコストにきちんと経費をかけ、良質な素材を使用することがメンテナンスフリーとなりランニングコストを低くし、施設の長寿化につながる。そのためには内・外装に良質な素材を使うことが必要である。

### (2)各機能の概要

No.	意見
111	今回、市民委員の皆さんとワークショップを行い話合った結果、「新しいホールは、練習室、リハーサル室、企画立案、運営等を行い、ホールの中で『文化創造』を行っていく場所」として、基本構想をまとめました。現在、小田原市近隣で活動されている大勢の皆さんは、新しいホールが出来る事を待ち望んでいます。
112	市民は市民ホールの早期実現を期待しているのに、大ホールに小ホールまでつくる必要があるのか?さらに、大スタジオ、小スタジオまでつくることはないと思う。
113	プロの大きな公演を呼べる大ホールが無い(残念ながら、市民会館は現代のニーズには適応しません)ことも現実です。これは演劇のみならず、音楽関係も遠ざけてしまっていることでしょう。魅力ある興業ができないなら、市民は外へ行くし、他市の人々は小田原には来ません。市民会館を併用はしても、オンリーではもう発展しないのです。
114	皆様の要望はかなりハードルの高いものになってきています。専門家がその意見を吟味して、それぞれの方々が、70%の満足が出来るようにプランを組み立てるとするのがモアベターかと思えます。
115	「大ホール」・「小ホール」・「展示場」これらは全て、市民の文化芸術の「発表・鑑賞」の施設として、目的を特化明確にする。
116	ホールの中にミニシアター的な施設があれば良いと思う。
117	《P21. P22》大ホール、小ホール中心の計画となっており、現在の市民会館と比べるとフラットな床面が少なくなっていると感じます。イベント開催時における控室や着替え場所に用いるため、パーティションでフレキシブルに区画できるよう配慮するなど、イベント開催時にも使いやすい計画としていただきたい。
118	機能の概要には、大ホール、小ホール、展示、創造系・支援系、交流系、管理系に分けてあり、構成イメージが示されていますが、やはり舞台系機能がほとんどで建設費のほとんどがこれに費やされると思われます。
119	もっと来場する客数が増えるような施設を作ってほしい。

### ホール共通

No.	意見
120	観客席はフラットではなく、舞台がどの席からでも見えるようにお願いします。
121	南足柄文化会館のように、音響の良いホールを作ってほしいです。(プロの人も満足いくような)
122	府中の「府中の森芸術劇場ウィーンホール」などを参考にしてみてもいいでしょうか。
123	観る、聞く側・主催する側・演ずる側・管理する側、各々の立場に配慮した設備をもつ事で、利用価値の高い施設にし、市民が自慢して話せるような市民会館にしてほしい。
124	古典現代劇、各種のコンサート等を上演できるステージ、を支える照明音響付属施設、見聞しやすい客席(小規模ですが南足柄文化会館はよい)
125	楽屋の個数を増やし、大・中・小ささまざまな広さを設けてほしい。
126	舞台袖(上手、下手、いずれも)の広さを確保し、またどちらからも楽屋につながる通路を設けてほしい。
127	楽屋とか、内側の部分もしっかりした作りで、かつ、客席はスタイリッシュでありたいですね。
128	舞台の床の部分は、出来るだけ奥行きがほしいです。
129	舞台は、合唱団が座れる雑壇が置けるようにしていただければと思います。合唱団は平均年齢が高いですので、練習のときは、立ち続けていることが辛い方もいらっしゃいました。舞台上に合唱団が座れる仕組みを作ることで、ソリストのみ、オケのみの曲を増やすこともでき、選曲の幅が広がることと思います。
130	中学校の合唱コンクールや合唱祭でも使用できるような音響施設を期待します。
131	小中学校の子どもたちが音楽や演劇のコンサートを鑑賞できるよう、それが可能な施設をお願いしたい。
132	実際舞台を使用する側としては、是非リリユームを備えていただきたいと思います。最近ではどこのホールも完備されていると思われます。細かいことはまだ先になると思いますが、楽屋の中にカーテンをつけた着替え室を作って欲しいです。
133	貴重品の紛失を防ぐため、コインロッカーを設置してください。何回か出入りをしますので、お金を入れたら使用後は代金が戻ってくるようなコインロッカー。
134	出演者が多いので(150人~200人位)20人、30人位入れる楽屋をいくつか。鏡、机、椅子等。
135	楽屋に取り付ける鏡を片面だけでなく、両面につけてほしい。
136	新しい大・小ホールでのコンサートには今から胸が高まります。 一方、もっと小空間で行われるコンサート(サロンコンサート)もあります。 サロンコンサートの素晴らしさは、奏者と観客の関係が生身の親密さにあります。時にはティータイム も設けて、まさに五感で音楽を楽しみます。 従って、会場には音響性能もさることながら、五感を満足させる室内の雰囲気重要です。
137	イメージ図の人物と空間の関係をみると狭小な感じがします。可動パネルなど当たり前で、床がフローリングとするなどここでは記述すべきことでしょうか。機能の説明では、この種の施設なら当然のこと、詳細に過ぎること、抽象的なことなど整理が足りないと感じました。

①大ホール系機能

No.	意見
138	一定の設備とキャパシティが確保できていれば、様々な用途に利用できるので、大ホールについては素案で特に問題ないと思います。
139	大ホールを1200席ほどとしてあるが、小ホールをやめて1500席くらいのホールにすべきで、中途半端なものにすると採算の点からして高い入場料になる可能性がある。
140	市民ホール基本計画(案)P.18大ホール系機能で「客席は1,200席程度とします。」とあるが、当初のしぼりは「1000~1200」であり、1000がいいか、1100がいいか、1200がいいかの議論は専門委員会ではなされていない。客席数は設計者の考えが明確に示される設計値であるから、1200程度という議論がなされていない以上、従来通り1000~1200として設計者に委ねるべきである。(これでは事務局の抜け駆けである)
141	18p、20p 大ホールと固定席の小ホール…これまで検討された結果であるのは承知しているが1200席は今後の街のあり方を考えるときに過大な規模である。小ホールを固定席にすることについても使い道が狭まり稼働率が下がる可能性が高い。
142	大ホール収容客数にしても現存のホールに100名強程度増えるだけ。
143	最低1200~2000人収容できるホールでないと、名前の通っているアーティストが来ることは少ない。アーティストが公演することによって普段小田原に来ない人々が小田原に来る回数も増えると思う。現に、小田原球場も収容客数が少ないため(スタンドが小さいため)プロ野球もイースタンリーグしか来ない。

②小ホール系機能

No.	意見
144	市民会館の小ホールも多様な使われ方をしているはずであり、市民ホールの小ホールを固定席にするのは納得できない。ロールバック式にして多目的な活用ができるようにすべきである。
145	コンサートは小ホールを使用したいので、せめて400人くらいの定員をお願いします。
146	小ホールはすでに「けやきホール」など多目的に利用できるホールがあることを考えると、より芸術性の高いホールにして欲しいと思います。

147	現在の小ホールのように体育館のような造りのホール(舞台や客席も可動式のような)はやめてください。
148	小ホールについて、市民がいろいろな活動の場として、一番利用するであろう空間として、観客も演ずる側も、そこにいる事に幸せを感じずる非日常空間として存在してほしい場所です。
149	小ホールについて、間違ってもロールバックチェアなどにしない事。
150	多くのアマチュアの小劇団の求める小劇場が小田原にあれば、小田原での演劇活動をもっと活性化し、他地域にアピールし得るものになると思います。「小田原の小屋で公演する」ことがステイタスになるような空間を育てたいと思います。
151	小ホールにサイドバルコニー席はいりません。
152	小ホールについては市民が最も利用するところで、その面では音楽や演劇にも対応できる計画になっています。
153	着席も固定でしかも段床式で見やすくなっているところがとても良いと思います。
154	小ホールは多くの方が利用するところになると思うので注意して読みましたが、音楽や演劇などにも対応してきている計画案だと思います。

### ③展示系機能

No.	意見
155	西相美術協会の一員として、大きな展示スペースの確保が将来の存続にかかわる。重要な課題となっている。ギャラリーだけでは「狭い」のひと言である。
156	展示スペースについて、かなりの過密展示となる。その点、計画案の大スタジオやワークショップルームの連携のように期待しています。
157	展示室について。床面積の確保だけでなく、展示は壁面と照明が心配です。四周の壁面だけでなく、室内に展示壁を設けるための可動パネルが必要であり、その壁面を照らす十分な照明が必要です。(展示の壁面長は、ギャラリー分を含め約300m以上必要)
158	小さな美術館を併設するか、展示室・ロビー展示等を行い、地元芸術家の作品を展示してもらえると地元の作家の方を知ることができ、うれしいです。
159	展示スペースが少ないと聞いています。小ホールは固定式の椅子で展示は不可能とのこと。他に展示出来るスペースはリハーサル室か？
160	まわりの壁と間切り壁が引き出せるようにして展示できるように。それに合わせて照明設置を整えること。
161	「大ホール」・「小ホール」・「展示場」の相関関係について「大ホール」・「小ホール」の施設内諸設備は共に共通・互換性があり、相関性は高い。従って隣接させる事の効果も推測できる。しかし、展示場は特に前述の二施設の様に、「高度な照明施設」「音」「反響」などに特化するような条件は無く、むしろ天井高く、展示内容によりレイアウトに自由度があるギャラリー空間の要求が強い。其の点では、現予定地に三施設が納まれば問題ないが、収まらない場合は、将来の敷地拡大(来電の場所or旧法務局の跡地)への建設に托し、それまでは現市民会館を優先使用する等の検討も必要と考える。無理やり詰め込み、結果各施設が中途半端になるような事は避けたい。将来に禍根を残したくない。先般「城址天守閣」で書道・生け花展が催された。鑑賞客も多く盛況であった。市内既施設の「清閑亭」「松永記念館」「けやき」等を「書道・生け花展」の如く、それぞれ季節・場所ごとにテーマを決め、それぞれのグループで創作、発表(展示)する等、展示系部門はもつと横の交流を進めてはと「書道・生け花展」より感じた。書道・生け花・俳句短歌の会・茶道・琴・三味線…いろいろな組み合わせで、前述の施設を使い分けての展示・催しを提案したい。従来の個々の作品展から、共通の課題・テーマによる制作活動(コラボレーション)を提案したい。
162	展示をする場合は、パネルや展示台が必要であり、そのためにも、交通の便のよい市民ホールに複数の常設展示スペースが必要だと思います。20万都市の展示スペースとして350㎡はお粗末だと思います。
163	小学校図工展はスペースがないため、学校を5ブロックにわけて巡回展という形をとっています。中学校は外側壁面に作品をつけられないため、作品数をしぼり、スペースの関係で立体作品も制限しています。科学展(小・中共同開催)も同様です。現在の計画では、これらの開催中他団体は区切られた展示スペースを使用できないという欠点もあります。美術館がない都市ですので、展示スペースの拡充を切に願います。
164	市科学展については、現在、各校より作品を絞って、限られた数のみの展示となっている。科学展は「よい展示である。もっと長く、もっとたくさんの作品を見たい」といった市民の声もあり、数多くの作品がゆとりある空間に展示できることを期待します。
165	現在も科学展や尊徳学習、また各学校の様々な事業の取り組みの様子など、展示をしていきたいものたくさんある。いろいろなものを市民へ広げていくためには、展示会の回転をはやめることも必要であるとする。科学展については、現在、コンクリートのブロックを持ち込んだり、パネルを運んだりして、市民会館の小ホールを使っているが、効率化する(簡単に展示ができる)ことで開催日時の延長など、展示会の広がりが期待できる。
166	この1室だけのギャラリーは、ホールと違って多機能としています。提案されている面積350平米(展示系として450平米)は、現市民会館の小ホール(面積不明)と展示室(174平米)を合わせたくらいと想像され、例えば西湘展(市展は覚えていません)では、小ホールとその隣接と1階ロビーまで使用しても窮屈な展示となっていることを考えると、この面積は十分でないと思われます(美術関係者の意見はなかったのでしょうか)。
167	展示系機能には、常設展(規模は小さくとも小田原由来の作品)、企画展示室、アトリエ(美術工作室)、研修会議室など、相応の複数の部屋が計画されていないのは何故でしょうか。
168	展示系では、計画に示された広さと構成で何が出来るか懸念がありますが、パネルで仕切って多機能だというのは、安易に使おうという発想であり、展示系の芸術文化(先の文言を借りました)振興の方向性との関係が提案されていません。



④創造系・支援系機能

No.	意見
169	機能的で使いやすい施設として、西相点は大作と公募で出展作品も多い。スタジオ、大中小をぶちぬきで多目的に使用可能にして欲しい。パネルを立てれば展示空間として使用できると考える。
170	ワークショップルームは室の広さを可変出来る仕様、設計であれば展示壁も作りやすいと考えます。
171	ホール(舞台)に準じる広さのスタジオを設けてもらい、床の材質にも配慮してもらいたい。
172	(支援系施設)も、①項各施設の機能を有効に活用するための目的に限定し、発表前の練習場・稽古場等は市内の「既施設活用」を促進。既存施設の「使用仕分け」を進める。但し、音楽関係の「公演中の声・音出し」等は、各ホール機能の楽屋に隣接した施設に配慮。多数者(コーラス等)の場合は(支援系施設)の活用に設計配慮要。従って(支援系施設)は「大ホール」「小ホール」、何れからも使用可能の配置とし、使い勝手に配慮が必要。
173	スタジオを“大中小”作る予定となっており、多目的利用できるようになっていると思います。しかも平土間になっていて使い勝手がよくなっています。
174	ワークショップルームは現市民会館本館機能(会議室スペース)がすべてそなわっているのでしょうか。不足しているとすれば、今後確保される見込みはあるのでしょうか。(不足する場合、例えば、現市民会館本館会議室は多くの団体等が使用していることから、今後10年間、現状のままで残し、その後建設予定の駅前再開発ビル内に機能を移すような方策も考えてもらいたい)
175	今回の基本計画案に明示されている大・中スタジオなどが、しつらえの工夫によってサロンコンサート開催可能になります。それによって、この演奏形態がもっと一般的なものとなれば、音楽鑑賞全体の楽しみ方が豊かに広がるでしょう。

⑤交流系機能

No.	意見
176	入居業者(テナント)にしても利用者は安価なサービスを期待します(平塚の美術館のコーヒーは高額でおいそれと休憩をとるわけにはいきませんでした)。

⑥管理系機能、その他

No.	意見
177	空調施設などは主要ホール等を除き、個別設置とした方が良策でしょう。
178	トイレは洋式が良いでしょう。
179	トイレの個数を大幅に増やしてほしい。
180	クローク(傘含む)は、ホール使用時、主催者の責任において実施する「神奈川芸術劇場」方式を提案したい。

(3)施設計画におけるその他の留意点(駐車場、周辺環境、備品)

No.	意見
181	「いかにして外から来ていただくか」という一点に注力すべき。
182	JR、新幹線、3つの私鉄が通る駅という利便性を活かし、小田原周辺の市や町の人々にも利用して頂くことを考えるべきであるし、この利点を活かすことで多種多様な優れた公演の招へいが可能となります。
183	マイカー時代でしかも高齢化がすすむ中、大規模な駐車場の確保は必須と思います。
184	駐車場の広さを確保してほしいです。
185	市民ホール利用者用に無料駐車場を広くしてほしい。
186	業務を行う上で必要な台数分4~50台分を敷地内に確保するとありますが、何度も市民会館に練習に来ることになる市民参加型事業に参加者(特に夜間)には、周辺の市営駐車場を無料あるいは割引で利用できるシステムがあるといいと思います。特に、夜間の活動の場合は、終わったら家路を急ぐので、商店への経済的貢献も少ないですし、夜道の安全を考えると必ずしも電車で来ることを求める必要はないと思います。もちろん、公演の観客や単回あるいは数回のワークショップの場合は、定期的な来訪ではありませんので、補助しなくてもよいと思いますが。これまでの市民ホール建設応援イベントの市民合唱の練習で感じたのですが、幸い練習の大半はけやきでしたが、もし市民会館で何度も練習があれば、駐車場代がかさみます。せめて、1回の練習で500円以下で済むようにしていただければと思います。

187	駐車場の確保 市外各地から来られるお客様は、豊富な鉄道網を利用することは言うまでもありません。しかし、現在の車社会にとって駐車場の確保は必要不可欠です。その立地は、駅からのアクセスと同様に、商店街を経由あるいは、隣接の場所にあるべきです。逆に中心街と離れた場所に駐車場があれば、ホールに来たお客様は、商店街に足を向けずに、そのまま帰ってしまうと思います。そして、既存の駐車場を利用する場合、ホールから、商店街までの範囲の駐車場を利用する場合の割引や無償化も検討すべきです。極端に言えば、ホールの駐車場は有料、商店街の駐車場は商店街が負担し、無料。などです。
188	素案によると、ホール関係者用の駐車を40～50台分確保し、会館利用者は周辺駐車施設の利用を基本としているが、1200名の観客を収容する施設の駐車場対策としては余りにも無計画な想定である。
189	栄町駐車場はイベント時の収容可能台数不足や災害時に立体駐車場から車両が出られなくなる事態等が想定される。
190	城址公園と市民ホールで大規模なイベントがバッティングした場合、駐車場の不足などの問題が生じてくると予想されます。ホールイベント実施に当たっては、周辺への負荷等を十分に考慮することが必要であると考えます。
191	駐車場がどの位確保できるのですか？
192	駐車場を広く確保してほしい。

#### (4) 施設構成イメージ

No.	意見
193	計画案4-(4)の施設構成イメージ図では、ワークショップルームとギャラリーの連携、動線が抜けています。

#### (5) 施設規模

No.	意見
194	全体 新しく作るホールへの多様な期待が積み上がり、過大な施設になってはいないか。むしろもっと機能をそぎ落とす中で、様々な可能性へ挑戦するような施設の在り方を望む。
195	全体に対する面積は、大ホールと小ホールがあり、創造・支援系(複数のスタジオなどすべて公演系のための機能)を合わせて86%、他の「芸術」にはたったひとつのギャラリーと準備室と倉庫を併せて展示系にはわずか0.6%が当てられているだけです。もちろん、他の芸術を愛好する者も舞台系の「芸術」を楽しむことがあったとしても、平等な機会を得られたわけではありません。

### 5. 管理運営

#### (1) 基本的な考え方

No.	意見
196	文化創造拠点としての運営計画において、無理にビジョンに遡及することなく、舞台芸術振興の拠点として運営を特化すればいいと思います。
197	5. 管理運営 この項では、管理のための運営組織を述べていますが、広義の運営すなわち、公演や展示などの具体的な提案がありません。今の市民会館を始め他の諸施設でも行われている市・団体・市民の行催事の情報収集をしていますか。
198	整備の目的に謳われている機能分担を施設と催事との両面から分析して、運営のあり方を提案していただきたかったと思います。

#### (2) 運営組織

No.	意見
199	市民ホールの建設が、これ以上先送りにならない事と、新ホールの建設と同じく、管理運営するマンパワーの準備にも、その予算が組まれることを希望します。
200	各施設使用における公的使用も「原則有料」とする。例…行政による説明会等も、使用単価は検討すべきだが、「有料化」を提案したい。理由…管理・運営費は全てを金銭化し、「運営管理の評価判断基準」の一つとして活用する。公的機関施設はとかく民間施設に比べ、公的の範囲区分の、仕分けし難い内容が多々あると思うかが、敢えて「数値化し、具体的に「見える管理」にすることを提案したい。
201	管理運営についても、基本的な考え方が記されていますが、施設の建て替え以上に、完成後の運営をどこが担うか、どの目線で運営していくかが大切と考えます。ぜひ、市民が使いやすいように、ひいては今をいきる子どもたちが、将来にわたって誇れる管理運営をお願いします。

202	市民ホールの運営組織には、専門性の確保と市民参加が提示されていますが、(ビジョンで言う)評定者ではなく実権のある運営組織を設けることがよいと考えます。この場合、たとえ市民有志でも運営者として雇用関係を結び、安易にボランティアに頼ることは避けて欲しいと思います。
203	指定管理者を入れることにより、市民利用者に追加的な費用(わんぱくランドの駐車料金)や不便(排他的な競輪専用の駐車場)はかえって発生することも避けて欲しいと思います。指定業者といっても顧客である市の意向を優先しそれほど柔軟性はないのではと思いますが。
204	公共的な意味合いを有しているように見える既得権を持つ業者などの参入も要注意です。行政的管理能力だけでなく市としての文化振興に関わる当事者意識の保持と運営能力の強化のため直営が望ましいと思います。
205	文化芸術への関心層を広げるためにも、受け取る側、つまり来場者が「楽しむ」ことはもちろんですが、与える側、つまり職員が「楽しむ」こと一仕事に対する満足度も重要であると考えております。施設職員の仕事に対するやりがいや満足は仕事を楽しむことから生まれ、多くの文化施設で職員の雇用形態は多様化していますが、雇用形態に関わらず誰でも意見交換の行える職場環境を提供し、個々の仕事に対する正当な評価を行い、施設全体の職務内容を統括する人材を育成するといったシステムづくりも構築することで、内部からも施設の活性化につながるのではないかと思います。

### (3) 運営について

No.	意見
206	市民ホールは多額の投資をするのだから、稼働率を高めなければならない。
207	利用時間について 行政が絡むと、利用時間という厳しい縛りがあります。桧森さんは、行政が利用法を決めるのではなく、あくまで使う側が主体であるべきと仰っておりました。全くその通りです。さて、柔軟な使用を促すのであれば、24時間いつでも使えるような体制で運営するべきです。深夜帯の舞台設営や、スタジオの深夜開放。また、上演時間を夜の9時からにして、市街のレストランで食事を済ませてから、オペラ鑑賞など、そんなおしゃれな生活スタイルは、ヨーロッパでは一般的です。治安維持の問題もあるとは思いますが、ホールを中心に小田原が全国に誇れる街作りをするのであれば、思い切った試みも必要です。
208	施設使用は全て、「有料」を基本とすべきと考える。シャワー室等は使用の有無で料金設定する方式にすべきである。また洗濯室・乾燥室等は、当市の立地条件から推測するに、必要不可欠の設備か？この案は再検討要。 理由、当市での「催し物」は精々2日以内の興行、多くは「朝乗り込み…夕方引けのツアー興行」が多い。過去の実績と現状を精査し、再検討の要あり。閃き提案も当初は大切だが必要項目を検討選択し、実現可能な内容に集約すべきと考える。止めどなく「提案」を募る段階は終わった。提案項目を実現可能な内容に整理・纏める段階と考える。
209	評価では、ビジョンでも書きましたが、基本理念のような漠然とした上位項目についての評価は、解釈や記述でいかようにもなります。行われた事業の評価の集積で評価すべきではないでしょうか。
210	事前の客観的評価も必要ではないでしょうか。シンポジウムなどの公開の説明会や意見募集のような記述的(散文的)な評価のほか、評価基準を明らかにした方式や数値的な評価が望ましいと思います。
211	評価者も関わりのある人だけでなく潜在的な需要者の意見も反映することが望ましいと考えます。例えば、妥当性:目標が市民の要求に沿い課題解決として適切か、有効性:市民に目標に沿った変化や便益がもたらされるか、効率性:費用や資源と成果や効果は均衡がとれているか、影響性:長期的な正負の波及効果があるか、発展性:終了後も持続的に発展するか、など。

### (4) 市民参加

No.	意見
212	市民参加の形態は、表にまとめられている通りと思いますが、ともすれば専門性や実績が個人的営利や利得に結びつくこともあるので、公平性が担保される必要があります。また、安易にボランティア頼らないことも市の見識かと思えます。
213	市民ホール基本計画(案)整備推進方針の中でソフト事業の拡大について、今すぐ始められるとの提案 現在の市民ホールの利用者の愛好者友の会の結成をして、利用者により運営に参加してもらい、自主上演(劇、音楽コンサート等)をしていくことをして新しいホールの運営につなげたらどうか。

## 6. 整備推進方針

### (1) 敷地計画

No.	意見
-----	----

214	駐車場も確保できない所にホールを作っても市民も来訪者も望まない。現在の建設予定地には作らないでください。
215	現在の予定地には建設すべきではないと思います。
216	今の市民ホール建設予定地にホールが建つことは反対です
217	「駅前にホールを。」という声がある様ですが、土地の広さ、形状、電車の振動、騒音、回遊性等、駅前では無理があると多くの市民が理解しております。
218	いいかげんに、敷地をどこにするのかぐらい決められても良いのではないかと。
219	敷地を決めなくては、何事も始まらない。
220	土地の有効可能な面積が、実際に確保できるのか疑問に思います。さらに、計画的に、いつまでに土地の買収が終わるのか？明確でない！
221	市民ホール建設予定地も、現時点のどの位置に何階建ての建物になるのかも明確にされていない、不明確すぎる。
222	急に浮上してきた駅前に建設などの案は絶対反対です。
223	建設予定地は今でも草地になっているようです。早くあそこに建設してください。
224	●ホールが線路脇ではなく、小田原城前でなければならない理由 1. 小田原の街中を観光が歩く回遊性があり、道中の商店の発展が見込める。 2. 市外からの来訪者が小田原城址公園を目にすることで、小田原をアピールできる。
225	再開発予定地はあまりに線路に近すぎます。騒音の影響は必ず受けます。しっかりと防音設備を施せばいいというご意見もあると思いますが、コンクリート建造物は十年二十年経つてくると、当初は想定しなかったような、乾燥による変化が現れます。
226	再開発予定地で、今の建設計画を継続していくには、敷地が狭すぎるでしょう。大ホールと小ホールだけを作るのでしたら対応できるかも知れませんが、計画を大幅に縮小変更しなければならないと思います。この辺のことは、専門委員の皆様のご意見をお聞きしたいと思います。
227	心配なことは、計画の内容が具現化出来る土地の広さが確保出来るか、ということが心に残った。
228	建設用地が確定されていない建設事業の設計者に、どのような設計条件を示そうと言うのでしょうか。「市民ホール計画用地」とされている1ヘクタールに満たない未買収地、きわめて変形し、周辺環境に制約されるこの用地を想定して、どのような設計条件を付けるのでしょうか。「城下町ホール」の5900平米の敷地と同じような結果を招くことが予測されます。
229	本日示された基本計画で「三の丸地区」に市民ホールを設置するのであれば、その敷地面積は、2ヘクタール以上を必要とします。用地取得し、敷地形状が確定した後に、「市民ホール基本計画策定専門委員会」を再開して、改めて策定を進めてください。
230	計画区域内にあり、現在は建設用地外としている東京電力の建物も原資賠償に困窮している会社の足元をみて、取得を考えているのでは…とも窺われる。またその上で法務局、裁判所等も取得する場合には100億円を超える費用がかかることも予想されますが、基本計画記載の委員会や定例会等に建設地についての記述もありますが、素案で計画地区としての当該地の見直しを提案します。
231	東日本大震災の津波破壊力を建設計画に考慮していなかった時点での計画を続行するのではなく、今後南関東でも発生が危惧されている大地震での津波対策を考慮し、東北地方でも言われているより安全な高台地区である新たな候補地として、文教地区にあり、収益も減少し、犯罪の誘因ともなっている競輪場を廃止して、そこに建設してはどうか。駅からの距離も遠く無く、アクセスとしては現在の競輪場へのシャトルバス方式の運行でもよいのではないかと。競輪場周辺には現在多くの駐車場もあり、更に耐震上問題があるとして現在使用されていない旧県立小田原城内高校を撤去し平面駐車場にできれば遠方からの利用者の利便性が增大すると思う。
232	大型搬入車両による荷捌きが可能な搬入口が備えられることが、何よりの理想ですが、現実この狭い建設地の中に建てられるのでしょうか？
233	建設用地は、基本計画(案)を満たすスペースが確保されますか？民有地の確保は大丈夫でしょうか。用地確保が不可能の場合は、別の用地も視野に入れておく必要があります。

## (2) 三の丸地区の整備

No.	意見
234	市民ホール建設はあの三の丸地区には絶対に造らないで下さい。
235	三の丸地区に建設する優位性がわからない。
236	市民ホールの建設が必要か、必要であるならば、三の丸地区が適切かどうか、選挙ではなく、住民投票できめるべきです。
237	三の丸地区は歴史地区として残し、お城通り地区再開発地区にという意見が市民の一部から出ていますが、鉄道による振動、ホール搬入口の設置問題などたくさんあります。三の丸地区の景観に可能な限り配慮し、コンパクトで使いやすい、大ホール、小ホール、ロビーなどが整った、さらに環境や防災にも配慮したホール建設で、市民文化発展の拠点となることを望みます。
238	このホール整備当初に、三の丸に整備することを決めたのではなかったか。既に決まったことを前提に議論しなければ、何事も進まない。

239	三の丸の敷地は、前市長が工芸指導所や小田原警察署、消防署中央分署をひとつひとつ移転させ、やっと確保できた土地である。そうした経過や努力を忘れていないか。
240	三の丸地区整備イメージ図を見ると、ものすごく抽象的かつ不明確なものである。駐車場も大型バスはどこに何台可能か具体性が全くなく、明確化されていない。
241	場所に関しては三の丸周辺が良いと思います。駅前でそこに行って帰るのではなく、小田原城は全国的にもまれに見るほど駅に近く、そこまでの動線も含め小田原色を出し街の活性化に繋げるべきと考えます。
242	すでにできている基本計画に基づき、現在検討中の三の丸付近に建設するよう望みます。
243	ここまで計画を練られてこられた皆様に、敬意と感謝を申し上げます。 ただ一つ大きなことが気になります。それは、中心市街地の活性化がこれで、達成できるのだろうかということです。 「芸術文化創造センター」として、市民活動は活性化されると期待ができますが、この施設をどうしても、三の丸に造らなければならないという決定的な理由が感じられません。 今、お城を中心に小田原を元気にしようとする市民の皆様が、活発に活動をされていることにも、いよいよ動き出したと、期待と希望をもって受け止めております。 小田原を城下町として発展させ、来訪者を増やすためには、三の丸はとても大事な場所であり、城下町博物館のような施設を造る構想も当然あるはずです。 ホールもお城も、ともに大事な施設ですので、両方が活かし合う計画を作れないものかと強く思います。
244	ホールが線路脇ではなく、小田原城前でなければならない理由 1. 小田原の街中を観光客が歩く回遊性があり、道中の商店の発展が見込める。 2. 市外からの来訪者が小田原城址公園を目にすることで、小田原をアピールできる。
245	用地確保と将来的な用地拡充にご努力ください。
246	城郭との調和を配慮した文化施設であることが条件とはなりますが、目下、多くの文化団体のニーズのため、検討が前進していな気配を感じます。本日の集会は所用で参加できませんが、ぜひ「小田原評定」にならないよう話し合いの焦点を明確にし、実現するための建設的な話し合いになります様、懇願します。
247	子供達を中心に考えるならば、この場所は駅ビルよりもよい場所だと思うので文化的な建物が出来ると良いですね。子供達に小田原の良さを感じてもらえる様な。
248	この4年間各種専門委員会が検討してきたことは、三の丸地区に新ホールを建設することを前提に進められてきたはずで、それを今ここで変更すると、多くの論議を一からやり直さなければなりません。私は、三の丸地区に建設するのがベストだと考えます。
249	なぜ三の丸地区がいいのか。 劇場は、ただコンサートを聞いたり演劇を見たりするだけの場所ではありません。終演後その余韻にひたり、その感動を思い起こす空間がある方がよいとは思われませんか。劇場を出ると小田原城が見え、お堀端を散歩しながら帰るもよし、商店街をショッピングしながら帰るもよしです。観光地区や商業地域と一体化した劇場というのは、地方都市に与えられた特権です。大都会のどまんなかでは、この贅沢は味わえません。全国各地にこのような贅沢を味わえる劇場があります。
250	三の丸地区は将来的に、文化施設が集まる地域になっていくのが理想ではないでしょうか。もちろん長い年月をかけての長期的な展望が必要ですが、美術館、博物館などを徐々に建設していき、そしてそれが出来上がった頃には、今の新ホールは立替の時期を迎えますので、その時は50年後のニーズにあった劇場を建設する、というのが、少々小田原に肩入れしすぎた私の夢です。
251	市民ホールは「三の丸地区」を建設地として多くの時間を費やし検討・会議を経て今日に至る。然るに未だ駅前にすべき等、計画を根底から覆す如き意見がまかり通り、これらは市民の思考を混乱させる何者でもない。決定的欠陥があればともかく、決定事項は計画に従い進めるが基本。
252	建設予定地は小田原城の玄関にあたり、文化財・遺跡保護を積極的に推進している小田原市の今回の発掘調査により、今後大手門を含めた周辺施設が復元整備されるものと思っておりました。その上、建設計画予定地の周辺では法務局、裁判所が建て変えられ、また東京電力の建物もあり、虫食い状況の所を建設場所とするのは甚だ不適当で狭すぎると思われます。
253	東日本大震災の10mを遥かに越えた津波の教訓が全く生かされていない。即ち、現在、市防災課では防災計画で、大規模津波が発生した場合の危険範囲として海拔10mラインを地図に描き、その地区内での避難ビルの確保に奔走しているが、当該建設予定地区は海拔10m以下であり、ここに1200名の観客を収容する施設を新たに建設しようとする計画は小田原市自らが敢えて危険な施設を作ろうとする縦割り行政で、市政の総合的な調整が見られず、防災上、人命軽視の愚策と危惧される。
254	市民ホールの建設予定地は、お城通り地区再開発予定地と聞いていたが、三の丸地区に変更した理由を教えてください。この説明がしっかりなされない中で、文化振興ビジョンや市民ホール基本計画などを作成しても、市民から信用されない。
255	三の丸のこの地区は文化を発信するのだという強い気持ちでこのエリアを広くとらえて考えて頂き、それにそぐわないものは将来的にも建築しないようお願いしたいと思えます。
256	予定の三の丸地区は歴史的にも重要な場所です。こんな意見もあります。箱根登山ホールディングス(名称が不確か)の和田社長が日刊紙で述べておりました。三の丸にバスの駐車場を設け、観光客をお城へ導き、そのまま町中へ回遊させ、バスに戻らせるとの考え方です。

(3) 整備スケジュール

No.	意見
257	計画通り、H28年度の完成を心待ちにしております。
258	現市民会館の老朽化を考慮すれば、早期に市民ホールが出来上がることが必要不可欠であることは明白と考えます。
259	設計者は、真に小田原の問題を愛し、読み込み、理解している人が望ましく、そうでないと、これまでのせつかく積み上げられた討議が基本図面に活かされないかも知れないという危惧がある。本当に才能があるなら、地元出身者や常駐、常勤経験などを通して、更に外部からも小田原を深く理解するようになった設計者を優遇してゆく選択もあるのではないかと考える。その意味でも、基本設計の参加資格を、建設規模による経験量や所員数、1級建築士資格などに制約してしまうことはないかと考える。
260	早急の新ホールの建設を望みます。
261	遅滞なく、予定通り新しいホールの出来上がるのを楽しみにしております。
262	市民ホールが無くても、小田原市民が生活していくことには困らないでしょうが、人間として、小田原市民としてより良く生きるために、文化、芸術の拠点として、これまで多くの市民と共に構想を練ってきたこの施設を、後戻りさせることなく、進めて行って頂きたいと思えます。
263	<p>●市民ホール建設を遅延すべきでない理由</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>市民ホールが、ランダムに選ばれた一般市民の参画でまとめられた小田原TRYプランの前期基本計画にある「文化力を高める」への投資であること。</li> <li>市民ホールが、市民の文化芸術活動と楽しみ場の場となるため、市民に活力を与え、人材育成にも寄与すること。</li> <li>現在の市民会館の老朽化 <ul style="list-style-type: none"> <li>空調の不具合～前の席が寒いときがある</li> <li>空調システムの不具合～空調運転時に緞帳が垂直に昇降できないのは、安全上問題である。</li> <li>シロアリに食われているところがある</li> <li>舞台袖が狭い</li> <li>搬出入に時間がかかる構造</li> <li>発表会に便利な段床式の小ホールがない</li> </ul> </li> <li>基本計画の作成にかけた多大な費用と労力を生かせないのは税金の無駄遣いであるため、実施しなければならない。</li> <li>市民の芸術愛好人口が多いこと。小田原は全国的にも合唱が盛んであるとの特性を持ち、毎年多くの市民がホール建設応援イベントに参加して高いレベルの市民合唱をしていること。また、楽器や舞踊、美術の学習者やサークルも多く、多数の市民のホール使用が見込めること。</li> </ol>
264	市長選にかかわらず、ホールの計画は予定通り進めていただきたいと思えます
265	前回のホール設計の時は図面を見せていただきましたが、もう直せない時点でした。今回は設計を直せる時点で図面を見せていただきたいと思えます。(トイレ等の細かい指示ができるので)
266	小田原の空潤化を止めるためにもスピードを挙げて下さい。
267	芸術文化創造センターとして、早く着工、完成することを強く望みます。
268	今後も計画を修正していく際には、実際にホールを使用する諸団体からの意思を募り、より計画を充実させていただきたく思えます。
269	今後予定されている管理運営計画、設計者選定、基本設計、実施設計、そして劇場内の構造設計まで、しっかりと専門家が目を配り、折々にセカンドオピニオンにも耳を傾けながら、よりよい劇場を建設して下さることを望みます。
270	現在の方向で着々と前に進んでほしい。ここまで話し合ってきたのだから、あまり反対意見によって遅れが出ない方がよいのではないかとと思う。
271	とても素晴らしい充実した施設との事、今年こそはと楽しみにしています。一刻も早くとりかかって完成させて下さい。
272	早期の建設をお願い致します。
273	早く着工するようよろしくお願い致します。

274	<p>市民も意見を出し合って基本計画案がまとまったことは大変意義深いことです。引き続いて次に始まる設計から施工の過程でも、何らかの形で市民が関わることを提案いたします。関わり方の例として下記のようなことが考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、コンペ応募案の公開展示</li> <li>2、コンペ応募案の審査への参加</li> <li>3、設計各局面での図面等の公開</li> <li>4、施工各局面での現場見学会</li> </ol> <p>まずは設計コンペの優れた応募案に触発されること。そして興味を持ち、自らも考えてみるようになる。更にそれが具現化する様子を確認できることです。このような体験は、目先の建物完成のためには一見非効率的ですが、長い目でみれば、これこそまさに、まちづくり・環境づくりへの市民の意識を高める絶好の機会と言えるのではないのでしょうか。行政は今までの枠にとらわれない仕組みを作って、これをぜひ実現して欲しいと思います。</p>
275	<p>今後の整備スケジュールを効率よく進めて頂きたい。当面設計者選定が今後を左右する大きなカギとなるはずですが。選定にあたっては、大変失礼な表現ですが、「出来レース」にならない様、強く要望致しておきます。そして、選定の経過の議事録だけはしっかりと作成し、残しておいて頂きたい。</p>
276	<p>これからの先の主体は施設の管理、運営関係に重点を移し、組織を立ち上げ、スタート出来るものは開始し、ホールが完成時には全てがしっかりと機能するよう準備してまいりたいものです。</p>
277	<p>似た話が多くなり過ぎるのに一般的な内容でしかない意見交換や、参考以上にならない他例が積み重なり、読み取りが非常に複雑多岐になりました。しかし重要なことは、「箱」を造ることになるにせよ、これらはあくまで「言葉であり、来るべき現実(設計的には「空間に線を引く」こと)ではない」という認識です。言葉によるまとめは、「線を引いたとたん」に設計者の「思考」になります。しかし設計者の誰でもが、この「翻訳」をうまく読み込めるわけではなく、設計者の思惑や偏向により左右されます。それを調整するにはやはり、ここでも積み上げた市と市民と設計者との対話と納得が必要になるでしょう。</p>
278	<p>それは「箱」以前の問題で、駅からホールまでの徒歩ルート「にぎわいの展開」へのプランと投資計画であり、国道1号線からのアクセスを含めた駐車や動線問題であり、現市民会館とその周辺の扱いです。そしてそのための分析と長期の投資効果予測です。</p>
279	<p>設計者には3つばかりの重荷が重なり、それらが市と市民との間でよく見えた上で、それらを融合、分類、整理して優先順位をつけ、「空間に線を引いて」いかねばならないでしょう。その3つとは以下のようなものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小田原の将来性への、ロングスパンの動態性把握による判断(高令化、人口減少、情報化などによる社会の激変にあつて、児童、若者、老人の人口構成からの指向性や市への関心度、「小田原らしさ」の説得力の解明など)</li> <li>・活性化すべき運営組織の見分けと投資計画からの判断(ボランティア活動の人材選定や館長などの運営者の人選と人件費の出資、既存市民活動、学校活動の勢力分析など)</li> <li>・投資対象のプランニングによるランニング・コストの研究(費用対投資効果、前記のような敷地の様態からの問題、防災対策の扱い、カネを掛けなければいいというだけではないランド・マークの扱いなど)</li> </ul>
280	<p>設計者選定とその後については、例えば次のような手順がよいかと思えます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1・実績主義(特に規模を指定した設計実績数、経験分野の特定、事務所規模など)を排した、考え方の提案を公募</li> <li>2・現専門委員会と市文化部を軸とした選考委員会により選定された3~5組ほどの設計者について、市民を交えての公開討論(以下仮称、判定会議)による基本計画の選定(この段階では手書き程度の簡単なプラン図を提示)</li> <li>3・選定設計者を中心に判定会議で更に詰め、基本設計を依頼する</li> <li>4・基本設計を元に概略見積りを算定し、判定会議で検討する。このことの繰返しによるグレード・アップを図る。</li> <li>5・実施設計を依頼する。その際には求めに応じ組織設計事務所の協力を得てもよいとする。ここでも見積りを算定し、判定会議と設計者の複数回の合議によりグレード・アップとコスト適正化を図る。</li> <li>6・実施設計図を元に施工会社の公開公募を行い、主要施工図による施工見積りを求め、設計者と判定会議で検討する。</li> <li>7・施工会社を決定し発注する。設計者は更に施工図の検討を行い修正する。</li> </ol>
281	<p>市民ホールの進展がおそい！！ 市民検討委員会をあの回数実施し、更に一般市民へ今日を含めて2回も説明会を実施している。「城下町ホール」でロクに市民の意見も聞かず進めて、市民活動団体等に指摘され、ひっくり返ったことに市はビビっているのではないか！ 市民の意見は十分に反映されていると考える！ どんどん進めてほしい！！</p>

(4)事業手法(建設費、財源の確保、その他の経費)

No.	意見
282	建物の基本構造は将来に向けてしっかりとしたものとし、現在及び将来に向けて財政状況の厳しい折、順次必要に応じて加えていくことが必要かもしれません。(将来の増改築に対応可能な設計)
283	財政難の折、しばらくこのままで良いのでは、という声もある様ですが、国からの補助金も出ると聞いております。
284	基本計画案の要素を可能にするには、どのくらいの総工事費になるのか、今までに専門家を交えて検討してきたのだから、おおよその予算になるのかを示さずにいるのは問題である。
285	この案を実現可能な施設にするには、莫大な建設費用と維持管理コストが発生し、利用料や入場料を高く設定しなければ経営が成り立たないのは明白である。
286	設計者、施工業者の選定はPFI方式を採用するのが効率的と思う。
287	不安なのは、立地敷地と財政(お金)です。 未だに少ない敷地の中で買取できない所もあると思います。お金の事についても、税収が減ってきている中で、沢山の借金を抱えて次世代に引きつぐ事は、十分考えていかなければならないと思います。

## ■その他

### 文化振興ビジョン・文化政策など

No.	意見
288	芸術文化のあり方について、人それぞれ価値観が違います。それもまた文化だと思います。昨日のシンポジウムには、自分にできることはないか、小田原で夢を描きたい気持ちで参加しました。建設の是が非ではなく、市民の文化芸術に対する関心をもっと高まるような、夢のあるホールができることを夢見ていきたいと思いました。
289	ビジョンは、小田原(市)文化のあるべきすがたを示すには軽い印象を持つと申し上げましたが、もし、ビジョンがホール計画と直結しているという位置づけならば、今般のビジョンのようで十分であり、構想あるいは計画の1分科として議論すれば十分に導き出されたものかと思えます。
290	ホールを舞台芸術系の拠点(実際にはそうになってしまう)としたときも、他の文化分野の振興は、分野ごとの振興施策を掲げ、他の公共施設や民間の施設、市民の文化活動との戦略的な機能分担と施策を明示すれば、ビジョンの目指すところの実現につながると考えます(ビジョン)。
291	このホールが、単なる小田原芸術ホールなら納得もいきますが、ビジョンにもとづく文化創造の拠点(センター)と位置づけるなら、このような計画はありえないと思います。
292	シンポジウム シンポジウムに参加させていただいて、検討に加わった委員各位のお話を伺い、首肯したところや疑問が残ったところなどありましたが、有益な会合となりました。しかし、包括的なビジョンから芸術文化(舞台系)へと特化していった過程が理解できませんでした。ビジョン委員長は優先順位云々とおっしゃいましたが、優先順位に関する記述は、ビジョンにもホール計画にも見あたりませんでした。もっとも、ホールありきですので、委員の皆さんにはこんなことは自明の理だったかもしれません。
293	市民ホール整備が契機となったとはいえ、ビジョンを策定「した」からには、「行政のしほり(確か間瀬委員かと思いますが)」として市民に約束するものであり、文化振興ビジョンで掲げた展望や施策は、(限定的なホールの機能に関わらず)実現しなければならないと考えます。
294	小田原(市)文化の原点を求めよう文化振興の方向には今後とも関心を持ってゆきたいと思えます。

### 基本計画市民検討委員会・基本計画策定専門委員会について

No.	意見
295	市民代表と専門家による議論は豊かで、ホール施設の内容とともに市民文化発展の在り方などにも広がり、深い検討がなされたと思えます。
296	市民ホール基本計画(案)について、さすがに市民参加の検討委員会で練られた計画案で、良く考えられていると思えます。
297	市民や専門家の皆さんが時間を掛けて十分に検討し、この案を作り上げてくださったことに敬意を表します。
298	「市民ホール基本計画シンポジウム」の会場にはり出された、検討段階での様々な意見を見ると、自分も一緒に参加して来たように見え、専門委員会や市民検討委員会の皆さんの努力を評価したい。
299	いろいろ検討していただき、皆さまの要望が取り入れられていると思えます。
300	今回、市民ホール基本計画市民検討委員会の意見を取り入れてくださったことで、十分評価できる事とは思えます。
301	市民検討委員としてすべての会議に出席し、文化ビジョン、専門委員会も殆ど全て傍聴させていただきました。皆様の御苦勞に感謝したいと思います。
302	委員会および名簿 計画では記載されておりませんが、構想には市民ホール建設準備会の委員名簿があります。ここでは展示部門からの文化団体代表者も入っておりますが、展示系への配慮をどのようにご提案されたかと思えます。また、ビジョン検討および計画策定に当たられた委員各位のお名前も基本的な情報として付加していただくなら、検討や策定の過程をうかがい知る手がかりになると考えます。



303	残念ながらレクチャー研修時には他用のため参加できず、市民検討委員の公募には応募できませんでしたが、市民検討委員会、専門委員会とも相当数の会合を重ねてきたようで敬服いたします。
304	この過程で見えにくいのは、市民検討委員会の提言を受けて専門員会が計画に盛り込んだという説明がありました。途中経過で市民委員会の提言はどのように専門委員会へ示されたのでしょうか。
305	市民委員会で提案書を(毎回)作成したのか、事務局で(毎回)要約し示したのか、市民委員会を代表してどなたかが(毎回)専門委員会に出席したのか、それとも意見交換会で一括提言を(書面あるいは口頭で)行ったのか、それに対する専門委員会の見解はどのように示されたのか、など如何でしたでしょうか。
306	展示系機能の不足には市民委員会から何か意見はなかったのでしょうか。
307	市民委員会のパネルは、皆さんの検討の後が如実に見られましたが、すべて読んだわけではありませんが、やはりホールありき構想ありき(所与の施設計画の域を出ていない)の検討でしたので、ちょっと物足らなさを感じました。
308	10回の市民検討委員会にはすべて参加致しました。「城下町ホール」の段階から関わってきた者にとっては、ようやくここまでたどり着いたという実感です。
309	市民ホール 基本計画(案)は専門家の諸先生方と、市民参加の10回にわたる、検討委員会、他施設の見学、市民会館の検証等の成果が盛り込まれていると考えます。
310	色々反対的な意見もある様ですが、市民検討委員会のふせんを読ませてもらうと、よく話し合っただけでここまで来たように思います。土地が確保出来るなら、出来るだけ早く完成に向かって進んでほしいと思います。今の計画で進んでもらって良いと思います。
311	市民ホール検討委員会の会議当初から伺って参りましたが、家庭の事情でしばらく伺う事ができず、今回久しぶりに伺って、当初、私達市民の意見が沢山取り込まれていた物が計画案に組まれている事に、ホッとしています。

### 現市民会館への意見

No.	意見
312	せっかく、耐震工事を行ったのだから、もっといろんなイベントを実施してほしい。
313	トイレを綺麗に改装してほしい。
314	2階の食堂をもう少し大きくして、営業時間を長くしてだるま食堂だけではなく、小田原港の食堂と同じメニューを出すことで、こちらも観光客を集客出来るのでは。
315	現在の市民会館は、耐震工事が一応済んだとはいえ、そのまま使うのはもったいない。
316	現在の市民会館は耐震補強が行われ、この先10年は大丈夫と言われているのでこの施設をもっと活用し、市内の既存施設や近隣市町の施設(南足柄市・二宮町等も含む)の利用実態も再度精査し、財政が逼迫している今、本当に新しいホールを遣らなければならないのか検討しても無駄ではないと思う。
317	現在は観光バスの駐車場が不足しています。三の丸地区にホールを建てるより、観光客誘致の方が小田原にとっては必要かもしれません。

### 情報提供に関して

No.	意見
318	新聞の折り込みチラシにお知らせを挟むとか、してみてもどうでしょうか。
319	市民の、ホールへの意識が薄れている感否めないで、市民と一緒にあらゆる手段で意識高揚をはかっていくことも同時に必要である。
320	市民会館で何をやっているか分からない事や入場状況がわからない事があるので広報も足りないのではないかな。
321	市民へ広く深く説明をつくして下さい。小田原の文化向上のために努力します。
322	こうした計画が進んでいることを周知することについて、もう少し配慮いただきたいです。
323	これ以上パブリックコメントを求めなくても、良いのではと思います。
324	先日のシンポジウムでの質疑応答の際、市民の方々から、現段階での計画に危惧している声が多々挙がっていましたが、それだけ小田原市民の方々は真剣にホール建設について考えていらっしゃることに気付かされました。そのような方々をもっと増やし、市民ホールについての情報を浸透させるためにも、広報活動はもちろん、先日のシンポジウムのような誰でも参加できる公聴会の機会をぜひこれからも増やしていただきたいです。
325	これからもっとマスコミ等に取り上げてもらい、『市民が造り上げたホール』であることを大きく主張して欲しい。
326	市民の多くが何らかの文化芸術活動に関わっていますが、もっと多くの機会、多くの良い場所が必要かと思えます。やる側、見る側のために。まだ×2ホールに関して知らない人だらけです。20万人全員で作るホールで！！

327	小田原市では各種事業を行うに当たって、パブリックコメントを行っており、行政だけで決めるのではなく広く市民の意見を聞くことは評価できる。しかしながら実際の意見募集では広報やタウン誌、ケーブルテレビ等で行ってはいるが、支所や連絡所には記入用紙の配布こそはあるが、計画内容や構想等はその場での閲覧用のみで、配布や貸し出しの体制がとられていない。これでは意見を提案しようにもその元となる資料すら十分に見られず(インターネットで見られるというが、誰もがその環境にあるとはいえない)、本当に市民から意見を求めるつもりが有るのか、ただ単に「パブコメを実施した」という行政の流れの中に一文を加わえんが為かと疑問を感じる。是では市民多数の意見が集まらず、行政の計画に異議なしとして処理されかねない。支所の窓口などには現在募集しているパブコメの一覧表を見やすい所に掲示するなどの工夫が有っても良いのではないか。
-----	---

その他(基本計画全般について)

No.	意見
328	●コンベンションホールを求める意見に反対する理由 1. コンベンションが開催される機会が少ない。富士屋ホテルやヒルトンで対応できない大規模な会議は、横浜を使えばいい。 2. コンベンションホールを利用する市民の数が、芸術用のホールを利用する市民の数に比べて圧倒的に少ない。市税は多くの市民の利便に供するものに投じるべきである。
329	計画についての直接の意見ではないが、市民ワーキングやシンポジウムに参加しているが、シンポジウムで未だに駅前にホール整備を行おうとしている方の発言があり、はっきり言って驚いている。恐らく、その方は、われわれ市民がワーキングで検討してきたことを、全くご存知ない方なのかもしれないが、経過は、パソコンで情報を得ようと思えばできることで、重要な課題であると思っているなら、ワーキングに入り発言すれば良いはずである。
330	市民検討委員会の方の中でも、小田原に生まれ育った方が小田原の街の移り変わりを見てきて、先人に伝えられてきた事柄を思い出しながら考える事と、小田原に移り住んできた方とは、小田原の街に対する文化・歴史観が違います。小田原の最近のことしか知らない方が、小田原の歴史・文化と言われる前に、もっと先人から学ぶこともあるはずです。
331	建設予定地が狭くてたいへんでしたら、加藤市長が市長選の時に Manifesto で「競輪事業を廃止する」と言われましたから、是非競輪事業を廃止して頂いて、競輪場の跡地に市民ホールを建設してください。
332	次回の市長選に立候補される方のうち2人共が駅前にと言っていますが、今回の計画案で全てあの用地に入るのかどうか、又、搬入も全て11tトラックが直接搬入できるのかどうか、教えてください。
333	駅前に立てる場合、高架線の影響、振動、防音に普通に建てる以上にかなりのお金がかかるとききましたが、どの程度の費用がかかるのか、概算でもよいので知らせてほしいと思います。
334	現在ある出張所やサポートセンターの扱いはどのように考えられていますか。
335	なぜ小田原市は中途半端なものしか作らないのか？
336	市民会館の建替えと市民ホールの新設とどちらが費用面で優れているか？市民会館の建替えでは芸術文化創造が何故できないのか？
337	市民意見を本気で募集している資料とは感じられませんでした。
338	42Pは必要ない資料だと思います。
339	「1. 基本計画の位置づけ」～「3. 事業方針」についていえば、最初に7Pの図を出せば、あと1,2ページで詳細説明ができる内容だと思います。
340	聞きなれないカタカナ用語について自分で調べながら読みましたが、最後に注尺がついている。目次に明記する親切さがない。
341	P6の(1)基本的な考え方では「未来に開かれた文化創造都市を創造する」としている。P3の基本理念は同じ文章で「未来に開かれた文化都市を創造する」である。文章の打ち間違いではないのか。
342	盛り沢山の計画構想ですが、なんでもありのスーパーマーケットでは、結局魅力ない焦点のボケた施設となり、利用度は減少します。ひとつ主要なものを充実すれば、余分なもの、他の催物は必然的についてきます。(重点指向)
343	巻末に用語の説明(注)がありますが、公開が原則ですし、可能な限り本文中で説明すべき
344	カタカナ語が多い。
345	市民ホール整備については、平成初期から検討しており、もう20年以上となるが、未だに首長選挙にむけて、どの土地に整備するかの議論がされている。
346	どのような計画でも、全ての要望は満たせないが、だからといって、全ての市民要望を満たすような規模のホールが、景気の悪い今の時代に整備できるわけでもないだろう。
347	この基本計画案は言葉ばかりの文章がさえていますが、市民ホール全体の立体的構想イメージが市民にとっては浮かんでこないし、理想ばかりを追いかけて、絵に描いた餅にしかならないのではないのか？
348	土地の買収にコストも時間もかかるし、この場所は駅からも遠いし、回遊させてといわれているがお年寄りや外からの利用者には不便で、実現するにはあまりにも時間がかかり過ぎるし、中途半端なものになる可能性が高いのではないのか？危惧します。

349	用地取得上の問題が無ければ、是非予定通り進めてほしいと思いますが、次期市長選におきまして、現市民会館に耐震補強工事がなされたことを理由に、新ホール建設は不急であるとして、既存の新ホール建設への事業計画を覆す意見を持つ立候補者が出て、市長選の行方によってはホールの建設は振り出しに戻りかねないことが危惧されます。
350	たとえ市長交代によって新市長が計画の中断や延期の意向を表すとしても、市民との議論によって透明性を持って合理的に判断する運びとなるよう、市役所所管部課には引き続きご尽力いただきたく、よろしく願いいたします。
351	現在「市民ホール」建設の具体的な構想も見えません。予定地の近く通る毎に溜息をついています。「小田原を知る学」ための施設を早く表現してください。
352	20年近くに亘って論議してきた結果の基本計画(案)だと理解していますが5/13～5/20の市長選に於ける争点にまた挙っています。三の丸地区の土地買収を早く進め市民に明らかにする必要があります。その上で建設計画を市民に浸透させることが必要かと思えます。とにかく、市民の意識を改善していくことに力を注いで下さい。選挙戦の政争の具にはならないと思えます。
353	実現しない事業施策は、許されません。迷走を卒業してください。これ以上むなしい作業はやめてください。小田原市の恥です。これ以上、所管課の職員諸氏、検討委員会の委員諸氏、そして小田原市民にむなしい負担をかけないでください。
354	今回の素案では余りにも多くの要求を取り込もうとしており、狭隘な敷地の無理に押し込もうとしている感があり、また全体的にみて用地、配置、計画、運営等抽象的である。
355	基本計画全体のバランスが、音楽に関するものに片寄っていると感じます。市役所にも生涯学習センターけやき、マロニエなど市内の大きな主な公共施設には常設展示施設(スペース)や設備がなく、市民が気軽に展示発表できません。
356	「市民ホール基本計画(案)」P.32～36に記述されていることにも関わる事ですが、未だ建設予定地の買収問題が解決されていない現状では、どの程度の建設地になるのか？まったく予想が出来ない中で、基本構想の様な理想通りの市民ホールが建設できるのか？現在の社会情勢の中で、どの位の建設費用がかかるのか？まったく不確定の中で、私たち市民に全く提示されていない今、机上の空論になりかねない理想的な市民ホールが一人歩きしている懸念すら感じます。
357	この計画案は理想的な文章でまとめられていますが、現実とはかけ離れているように感じられてなりません。綺麗事ばかり序列したところで、建設予定地が不確定な状況では、絵に描いた餅になりかねません。
358	とても素晴らしい内容だと思います。しかし、それと同時に本当にこれが実現するのだろうか、という気持ちにもさせられました。
359	カタカナ こでも、やはりカタカナ語の多用が見られます。施設名など止むを得ない場合もありますが、検討過程はともかく、市民への公開文書には注釈が必要なカタカナ概念は分りやすい日本語になおして記載すべきと思います。「日本語」を使ったからからといって理解しがたいとか特段にページが増えるとかいうことはないと思います。カタカナ語を使って権威を見せたり意図的に分りにくくしたりしているというのはまああることです。
360	基本的に文化創造(振興)拠点としての市民ホールの整備には賛成です。もし、最初から公演系に特化したホールを建設すると言われればそれで納得していました。
361	前設計競技がトラウマになっていて、それを軸にして思考が回転し過ぎた気配を感じました。
362	ホールに興味がない人に対しての配慮が必要だと思う。音楽や演劇をする方、ホールをよく利用する方に片寄った計画にならないよう、多くの市民、市全体のためのホールとして完成させていただきたい。
363	多方面のそれぞれの専門家が、長い時間、費用をかけての基本計画概要説明があったが、土地の場所選定(警察署の跡地のようだが)、予算などを決めてからホールの設計にかからないと学者の理想の産物になってしまい、マネージメントのことを考えないと赤字の肥大になりかねない。これ以上市の債務を増やさないうホールで採算が合うようにすべきである。ランニングコストをどう維持してマネージメントをするべきかを十分考慮すべきである。今日の基本計画を見る限り、赤字体質の産物になりかねない。運営も民間に委託した方がよい。収支バランスを早く作成すべきである。
364	今の場所でもなく、皆さんがどこに建てても良い様な計画を建てて下さっていると、嬉しく思います。この場所であるならば、60年100年先に裁判所の場所も取り込める様になる事を期待しているので、その時のことも考えながら計画して下さい。ここまで来たのも、このタイミングのためなのかもしれません。良いものを作りましょう！
365	建物の配置図が載っていなかったのも、完全にはイメージが浮かびませんが、建物に関しては本当に私が待ち望んでいたものでした。
366	この4年間、市民の望むホール建設に向けての多くの方々のご努力、ご尽力がこの計画に良く表れていると思えます
367	現在市民会館で発表を行っている主催者、先生方、出演者は皆「新しいホール楽しみだね、早く建ててほしい」おっしゃっています。
368	新しいホールをという声があがってからすでに20年経過し、現在の市民会館は、使い勝手の悪さでは全国のワースト入りするレベルです。特に、トイレや舞台袖、搬入口等バックヤードは条件の悪さは、良いイベントも小田原を通りすぎるのが現状ですが、今回の基本構想では、使い勝手はこのホールにも負けない条件を盛り込んでいます!!!

369	設計案を募集して建物を建てるのは容易でしょうが、このようにソフト面をじっくり検討して、小田原の文化力向上のための場としてのホールにまで至ったことを一市民として誇らしく思います。個々の細部の良し悪しはわかりませんが、出来上がり予想図など見ているとワクワクします。
370	市の活性化の一環としてぜひとも新しいホールの建設を要望します。
371	長い時間をかけて専門家・市民・行政が協働で取り組んできただけあって、大変よく練りあげられた内容で、このホールが完成した暁には活発な利用があるものと確信いたします。
372	ワクワクするような計画案—これが私の第一印象です。夢が広がる、それでいて具体的で実現可能な計画案です。このために費やされた時間、無駄にしたいくないですね。一刻も早く次のステップに進んでください。
373	私は本案に賛成します。
374	その中の「小ホール建設」がゆるがなければ尚更です。とても良い計画で使いやすいホールになると思います。
375	今の市民会館は古くなってきているので早く新しいホールを造ってほしいです。
376	とても良い計画だと思います。完成を楽しみにしております。
377	使い勝手の良さそうな素敵なホールになりそうですね。
378	出来るだけ早くこの新ホールが出来る事を楽しみにしております。
379	序々に型が見えて来て嬉しく思います。
380	十分に時間をかけて基本計画を作ったのはよく分かった。その範囲では、かなり整理されて分かりやすい理念・実施計画項目となっている。これを裏づける文化振興ビジョンもできてきていることも分かった。問題は、これを実施する段階で設計に十分生かせるかどうかだ。まだ、半分の所に居ると思う。設計もOPENIに、いろいろな意見を吸収して作ってほしい。
381	計画通り進めていただき、早く出来上がるのを楽しみにしています。
382	計画通り進めていただき、早く出来上がるのを楽しみにしています。
383	市民ホールは必要だと思います。
384	文化都市小田原の名に恥じない様な市民ホールをお願いします。
385	市民ホールの整備、基本構想、内容のまとまったものになっていると思います。
386	舞台に関係ある一人としては、パフォーマンスの場は必要です。
387	実際の使用を考慮して、良く練られた基本計画であると思います。
388	より良いホール、よりよい街づくりができることを、願っております。
389	小田原にいいホールがあるよ、と知ってもらえたら「使いたい」という気持ちが広がっていくと思います。
390	シンポジウムだけの話ではまだ充分理解出来ていないだろうが過去何年もの積上げを通して現在の計画が出来て来たと思うので、全体としては良いものに仕上がって来ていると思う。
391	市民ホール建設の努力が「新しい公共」をつくる一つのモデルの様に思えて大きく期待したいところだ。
392	市民ホール基本計画に賛成します。
393	ホールの設計については大変よく検討された内容になっていると思います。
394	狭いという考えもあるようですが、それも考慮するとまた1から検討することになるので、ますます遅れてしまうこととなるので、この計画でぜひ進めてほしいと思います。
395	基本計画案を見てとても練れた計画であると思いました。
396	大変楽しみにしています。いろいろな公演を観たいと思います。
397	100万都市にも負けないレベルの市民ホール。今、計画されている通りの方針で進めて頂ければ素晴らしいホールが完成すると信じて疑いません。なにとぞお早目の決断をお願いします。
398	基本計画に関しては、十分な検討が行われたと考えます。
399	「市民ホール」建設に向けての、担当課のご努力に感謝申し上げます。

400	今、まさに「芸術文化創造センター」建設のスタートに立ったところです。まだまだ、難問の多くが立ちはだかる事でしょう。市、市民、力を合わせて、全国のモデル的な施設となるよう努力してまいりましょう。
401	とても良い計画案だと思います！！
402	早く完成してほしいと願いますので、宜しくお願いします！
403	市民ホール基本計画(案)を頂いて拝見しました。いろいろな角度から見ていて、よく練られてある計画と思い、皆様の苦労計り知れないものと思いました。拝見した今、早く実現して、この目を見て、使ってみたいと思いました。小田原市の新しいシンボルとして楽しみに待っています。
404	事業に関わる皆様、大変お疲れ様です。 「希望と幸福感を持ってくらすことができるまち」を実現するためのホール建設であると思いますので、ぜひじっくり検討を重ねられながら進められていくことを楽しみにしております。狭い敷地でも、よいホール建設は可能かと思ひますし、建設に賛成している市民も多いと思ひますので、頑張ってください。